

宮富



新二十歳誓いの言葉

本日は二十歳を迎えた私たちの門出に対し、このような素晴らしい式典を執り行っていただき、誠にありがとうございます。二十歳一同、心より御礼申し上げます。

私たちは様々なことをこの地、肝付で学んできました。

特に私個人として今も心に残るのは、人々の温かさです。

私は在学中、水泳部に所属し、練習を重ねる中、なかなか結果を残すことができず、心が不安定になっていったのがあります。このまま続けていいのか、ここから先この状況に未来を見出せるのかという不安。部活動だけでなく、学業などにも身が入らなくなっていました。そんな時にも、ずっと身近にいてくれた家族、いつものように温かい言葉をかけてくださった地域の皆様方、親身になって話を聞いてくださった恩師、そういった方々のおかげで不安を乗り越えることができ、前を向くことができました。

そういった経験から、私も人々にやさしく、温かい言葉をかけることができる大人になりたいと強く思うようになりました。

しかし私は二十歳になったとはいえ、まだまだ社会のことを知らない言葉通りの若輩者です。私は現在大学生として、社会のことを勉強しています。この地で学んだことを胸に、立派な社会

人として、また地元肝付にも恩返しできるように頑張りたいと思います。

最後になりましたが、二十歳を迎えるにあたり、今日この日まで見守ってくださったすべての方々に感謝しますとともに、時を同じくして二十歳を迎えた皆さん一人ひとりの活躍と肝付町のさらなる発展を祈念いたします。誓いの言葉とさせていただきます。

新二十歳代表

原口 大樹



新春の気配を身にまとい、今日この儀に立ちますこと、身の引き締まる思いがします。本日は二十歳をむかえました私たちにこのような盛大な門出の場を設けていただき、誠にありがとうございます。

二十歳という人生の節目を迎え、気持ちが高揚するとともに、緊張もしています。

これまでの20年間はあつという間でしたが、思い返すといろいろなことがあった20年間でした。

特に高校では、部活動で仲間と苦楽をともにし、家族の応援や顧問の先生に支えてもらいここまで成長することができました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で、あらゆるものに変化が求められ、私たちの高校生活にも多くの制限がかけられ、想像していた生活とはかけ離れたものでつらい思いをすることもあり

ました。

これから私たちが生きていく中でも予想外の出来事や、大変困難なことには必ず遭遇することでしょう。

そんなときには、これまでの20年間の中で経験してきたことを生きる力に変えて、顔を上げ、前を向いていきたいと思います。

この先私たちは一人ひとりその人しかいない人生を送っていくことでしよう。それぞれが異なる存在で異なる考え方を持つ私たちですが、だからこそお互いに協力しあい磨きあえば、きっと想像以上の輝きになると確信します。

まだまだ未熟な私たちですが、責任のある行動と周囲の人に心配りのできるかっこいい人間になってみせますので皆様ぜひ期待していてください。

最後になりますが、これまで見守ってくださったすべての方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、私たちが一人ひとりの活躍と肝付町の更なる発展を祈念しまして誓いの言葉とさせていただきます。

新二十歳代表

平野 結菜



当日の様子を
YouTubeで
公開中です！